

特集

新型コロナウイルス感染症への対応

- ☐ 看護部長 交代に寄せて
- ☒ 四国透析療法研究会
- ☒ 資格プラスα!
- ☒ 永年勤続表彰式
- ☒ 人生いろいろすずなりリレー
- ☒ 学会・発表会 発表実績
- ☒ 「はるか」だより
- ☒ 「分院」だより
- ☒ ニューフェイス紹介
- ☒ クラブ活動報告
- ☒ ご結婚・ご出産おめでとう

ニューフェイス紹介

2022年9月1日～2022年11月30日
①趣味 ②病院の印象 ③自己PR ※部署別に掲載



病棟 看護師
長崎 美里
ながさき みさと

①ミラーレスカメラ
②患者さんに対する職員皆さんの声掛けが丁寧で素敵だと思いました。
③私の強みは親しみやすさです。まずは笑顔で挨拶から始めてコツコツ関係性を築きます。



栄養部 調理員
門田 直子
かどた なおこ

①アウトドア始めました
②院内は明るく清潔感があり、職員の皆さんが親切、丁寧だと感じました。
③頑張りますので、よろしくお願いいたします。



地域連携室 MSW
中川 秀二
なかがわ しゅうじ

①スポーツ観戦
②院内は清潔感があり、職員の方々も丁寧に対応されており、いい雰囲気だと感じました。
③分からないことばかりですが、少しでも早く仕事を覚えて職場に馴染んでいきたいです。



医事課 医療事務
小川 雅人
おがわ まさと

①ドライブ・自転車
②院内は明るく開放的で職員の方は親切で雰囲気の良い病院だと思いました。
③1日でも早く業務を覚えて皆さんのお役に立ちたいと思います。よろしくお願いいたします。



車輛 運転手
高橋 佳宏
たかはし よしひろ

①バイク遊び
②ロビーが広く開放的でした。対応してくださった職員の方もとても親切で安心できました。
③まだまだ若輩者ですが、がんばりますので、よろしくお願い致します。



車輛 運転手
三好 裕之
みよし ひろゆき

①DIY
②空間に余裕があり、広々している。
③患者さんを安全に送迎したいと思います。よろしくお願いいたします。



施設用度課 事務
久保 広起
くぼ ひろき

①貯金・テレビ鑑賞
②明るく綺麗な院内で、職員の方も気さくで働きやすい職場だと感じました。
③皆さんとコミュニケーションを取りながら真面目にコツコツと仕事を頑張りたいです。



施設用度課 事務
森 瀬里菜
もり せりな

①映画鑑賞
②混雑している中でも患者さんに寄り添う姿勢や声掛けがとっても印象に残りました。
③細やかな気配りを大切に業務に取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。



介護付有料老人ホームはるか 介護助手
野町 晃代
のまち てるよ

①ガーデニング
②広々とした空間で職員と利用者が過ごしやすい印象。また、職員の対応も丁寧でした。
③私はハキハキとした性格で声も大きく、すぐ行動に移せる事が私の強みです。



安芸診療所 看護師
藤崎 凌
ふじさき りょう

①カラオケ・イラスト
②待合室やナースステーションが患者さんに近い場所にあり、安心感のある雰囲気です。
③働く中で自分の強みに気付き、伸ばしていけるよう頑張っていきたいです。



訪問看護ステーションあき 看護師
仙頭 智恵
せんとう ちえ

①旅行・ライブ観戦
②職員の皆さんは言葉かけや表情も明るく、環境整備も図れていると感じました。
③利用者さんや家族の気持ちに寄り添いながら笑顔で看護していきたいです。

ご結婚おめでとう

画像診断部
高橋 香菜子(たかはし かなこ)さん
(旧姓/濱田(はまだ))
2022年9月25日入籍

クラブ活動報告

大会成績

ゴルフ部

【第45回 TEAMさずな杯】

■日時/2022年12月10日(土)
■場所/Kochi黒潮カントリークラブ
(太平洋・暖流コース)

優勝 堀川 健太(管理部)
準優勝 寺尾 尚民(会長)
3位 濱岡 嘉一(ゲスト)
4位 宅間 大祐(ゲスト)
5位 松崎 崇(ゲスト)

野球部

第11回夜さこいナイター軟式野球大会【1部1回戦】

■日時/2022年6月26日(日)

高須病院DLZ vs 南国市役所

	1	2	3	4	5	6	7	計
高須病院DLZ	0	0	0	0	0	3	0	3
南国市役所	0	1	0	0	0	0	1	2

第11回夜さこいナイター軟式野球大会【1部2回戦】

■日時/2022年9月24日(土)

高須病院DLZ vs 高農ベジタブルズ

コロナ第7波中により自粛 不戦敗

ご出産おめでとう



臨床工学部
畠中 祥伍(はたけな しょうご)
2022年9月7日生まれ
一成(いっせい)くん



医局
西山 美月(にしやま みつき)
2022年10月4日生まれ
啓(ひらく)くん



医事課
出原 希笛(でかはら きてき)
2022年10月7日生まれ
光(みつ)くん



リハビリテーション部
島崎 由宇(しまさき ゆう)
2022年10月13日生まれ
月杜(ると)ちゃん



外来
久保 美由紀(くぼ みゆき)
2022年11月1日生まれ
咲奈(さな)ちゃん

【尚腎会 2022年10月の診療実績】

●外来患者数/3,309人 ●紹介患者率/20.4% ●新入院患者数/91人 ●退院患者数/87人 ●平均在院日数/11.7日 ●病床利用率/53.8%



高知高須病院

医療法人 尚腎会



高知高須病院

医療法人 尚腎会

■院内誌「ふれあい」 vol.106 ■発行日/2023年1月25日
■発行所/高知高須病院 高知市大津乙2705-1 TEL088-878-3377
■http://www.takasuhp.or.jp ■発行人/池田弥夏 ■編集/広報委員会
■印刷所/(有)三宮印刷 高知市潮新町2-14-8

右記のQRコードより、
高知高須病院の携帯
サイトに簡単アクセス!



看護部長 交代に寄せて

看護部長の任期を終えて

前看護部長 前川 三智子 (まえかわ みちこ)

常に「患者さんにとって最良か」を
考え取り組む

2015年10月より看護部長を就任し、7年間の任期を無事終えることができました。これもひとえに、寺尾会長、池辺理事長はじめ皆様のお力添えのおかげと心より感謝とお礼を申し上げます。

この7年間は尚腎会の理念を基軸に、常に「患者さんにとって最良か」を考えながら業務改善を行い、職場環境の改善や人材育成に取り組んで参りました。

最後の数年はCOVID-19の感染対策、コロナ第7波では人員不足になる中、各部署の連携や団結力で乗り越えることができました。この経験を通して、どんな困難な状況にも克服できる組織と実感し、バトンを渡すことができました。

今後は、運営支援担当として新たな業務に取り組むことになりましたので、何卒よろしくお願い申し上げます。

後任は、7年間支えていただきました前副看護部長・安井美恵が就任致しました。これからも腎・泌尿器の専門病院として地域医療に貢献できる組織に飛躍する事を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。



左／安井 新看護部長
右／前川 前看護部長

看護部長就任のご挨拶

新看護部長 安井 美恵 (やすい みえ)

『その人らしく生きる』を
支えたい

この度、看護部長を拝命致しました安井美恵と申します。

私が尚腎会の一員となりましたのは平成元年(1989年)、今から34年前になります。当時院長であった寺尾会長の指導のもと、知識や技術など何事も先進的に取り入れられ、現在に至るまで常に腎泌尿器領域の最先端の医療が高知高須病院にはありました。

その中で、尚腎会の理念である「患者さんのよき理解者・援助者となるために」職員一同が切磋琢磨しながら進んできた歴史があります。また看護部では「対象となる人々に寄り添い、予防から看取りまで『その人らしく生きる』を支える看護介護を提供する」ことを理念とし、日々取り組んできました。

そのような風土の根づく尚腎会での重責は身の引き締まる思いでございますが、皆様方のお力をお借りしまして、微力ながら役目を果たしていきたいと存じます。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

特集

新型コロナウイルス感染症への対応

～ 第6波、第7波を経験して ～

COVID-19の「第6波」では全国的に感染が拡大しました。2022年2月には当院でも陽性者が出現、送迎バスで5人の患者さんの陽性が判明しました。

自宅療養やホテル療養を行っている患者さんは他の患者さんと時間的、空間的隔離を行い、2階Eフロアで透析を実施しました。幸い大きな感染拡大を起こすことなく、収束に向かいました。この経験をふまえて、マニュアルの整備やBCPを作成し、スタッフへの周知を図り、次の波への準備を行ってきました。

しかし、「第7波」は想定をはるかに超えるもので、8月中旬頃より患者さんや職員の家庭内感染や施設内感染等による陽性者が急増しました。自宅療養や自宅待機で出勤できる職員が減少する中、次々と陽性が判明する患者さんへの対応、隔離透析の調整、接触疑いのある患者さんの追跡調査等、終わ

副看護部長

堀井 美智 (ほりい みち)

想定を超える「第7波」、更なる感染対策向上と連携強化を



感染対応病床は立入禁止に

りの見えない毎日、精神的にも体力的にも疲労を感じていました。また、患者さんの中には往復のタクシー代に数万円費やして検査に来てくれる方もおり、申し訳ない気持ちと感謝の気持ちでいっぱいでした。収束に向かうまでの約1か月半は本当に過酷な状況でしたが、職員が部署の垣根を越えて協力し合い、寺尾会長、寺尾副理事長、池辺理事長からも労いのお言葉や差し入れを頂き、動力に変えて何とか乗り切る事ができました。今回の第7波での反省や課題を踏まえ、更に感染対策の向上と連携の強化を図っていきたいと思いま

臨時に感染対応病床を隔離



2020年に入り日本でもCOVID-19感染が流行し始め、当病棟でも受け入れを想定した準備を進めていました。COVID-19感染者の初め受け入れは2022年2月でした。

受け入れ当初は、初めて直面する問題や課題が多く悩みながらの対応でした。

医師や感染担当者への相談、COVID-19に関する最新の知見を元にマニュアルの修正やBCP作成、ゾーニングやPPE

病棟 師長

岡山 智佐 (おかやま ちさ)

クラスターを経験、職員が一丸となって収束へ

の着脱手順などスタッフへの教育トレーニングなどを行いCOVID-19患者の受け入れ体制を構築していきました。8月には「第7波」の影響もあり外来透析患者の感染拡大に伴い入院する患者も増加し、8月～9月には病棟内でのクラスターを経験しました。病棟勤務者は慣れない環境や感染への不安を抱えながらも懸命に看護にあたってくれました。

一時は看護体制が逼迫し、他部署からの応援等を看護部全体で支援し合いながら乗り越えました。また、医師にも協力してもらい入院の受け入れや手術を中止するなど職員が一丸となり収束に向けて取り組みました。

クラスターを経験し、たくさんの学びがありました。感染対策などいくつか課題も見つかりました。今後も感染防止に向け、今回の学びを生かしていきたいと思えます。

永年 勤続 表彰式

2022年12月1日、永年勤続職員の表彰式が行われました。

今年度は勤続40年表彰2人、勤続30年表彰2人、勤続20年表彰11人、勤続10年表彰11人の職員が対象となりました。

表彰された皆さんの長期間の勤務に感謝致します。長年培われた知識と経験を生かし、今後ともよろしくお願い致します。

勤続40年 表彰

透析室看護師
大野 瑞代(おおの みずよ)

勤続30年の表彰を頂いてから10年。あつと言う間に過ぎていきました。

私は一昨年末に定年退職を迎え、昨年から再雇用職員として仕事をさせて頂いています。今回、このような表彰をして頂き感謝しています。

新型コロナウイルスの感染拡大が始まって3年となりました。高知高須病院では当初から冷静に感染予防や対策に取り組んできました。第7波の大きなコロナの波に呑み込まれましたが、全職員が一丸となって向き合い、波を乗り切ることができました。

今後、第8波や第9波が来ようとも高知高須病院は一丸となって波を乗り越えていけると信じています。

私自身はたくさんの研修に参加し、日本糖尿病療養指導士とフットケアの資格も取得致しました。

糖尿病療養指導士は5年毎の更新制で2年後に更新予定となっており、更新に向けて日々取り組んでいます。尚腎会の理念である「患者さんの良き理解者、援助者となりより良い医療を提供」できるように今後も日々努力をしていきたいと思っています。

仕事をさせて頂ける間、よろしくお願い致します。



※撮影時のみマスクを外しております

勤続40年表彰

透析室看護師	大野 瑞代(おおの みずよ)	昭和57年3月25日採用
透析室看護師	森 かなえ(もり かなえ)	昭和57年3月30日採用

勤続30年表彰

外来看護師	依光 真由美(よりみつ まゆみ)	平成4年4月21日採用
安芸看護師	田中 安美(たなか やすみ)	平成4年4月21日採用

勤続20年表彰

臨床工学部 主任	田村 勇人(たむら はやと)	平成14年1月7日採用
地域医療連携室 副主任	大倉 恵子(おおくら けいこ)	平成14年1月21日採用
薬剤部 副主任	堀切 雅子(ほりきり まさこ)	平成14年2月1日採用
透析室看護師	田岡 亜希(たおか あき)	平成14年2月4日採用
ICT課/診療情報課 課長代理	吉田 哲也(よしだ てつや)	平成14年3月11日採用
管理部 副部長	北岡 啓介(きたおか けいすけ)	平成14年3月21日採用
高知高須病院 副院長	松下 和弘(まつした かずひろ)	平成14年4月1日採用
訪問看護ステーションあき 副主任	西岡 みわ(にしおか みわ)	平成14年6月1日採用
外科医師	岩佐 幹恵(いわさ よしえ)	平成14年6月1日採用
透析室看護師	柳本 周美(やなぎもと ひろみ)	平成14年6月3日採用
車両運転手	鈴木 一正(すずき いっせい)	平成14年9月4日採用

勤続10年表彰

ICT課 主任	黒川 誠(くろかわ まこと)	平成23年12月21日採用
臨床工学部 主任	和田 尚也(わだ なおや)	平成24年1月1日採用
安芸介護福祉士	國澤 昭(くにさわ あき)	平成24年3月1日採用
室戸看護助手	山下 絵理子(やました えりこ)	平成24年3月1日採用
透析室看護師	川村 舞鈴(かわむら まうりん)	平成24年3月21日採用
透析室 副主任	石川 美咲(いしかわ みさき)	平成24年3月21日採用
安芸介護福祉士	横山 順也(よこやま じゅんや)	平成24年4月1日採用
東部臨床工学部 副主任	知原 史明(ちはら ふみあき)	平成24年4月1日採用
臨床工学部 副理事長	都築 一生(つづき いっせい)	平成24年4月1日採用
副理事長	沼田 明(ぬまた あきら)	平成24年5月1日採用
車両運転手	大原 正夫(おおはら まさお)	平成24年5月1日採用

第56回四国透析療法研究会 学術奨励賞受賞 ～ 本人の思いに寄り添えた支援に ～

2022年9月25日(日)

第56回四国透析療法研究会が高知商工会館で開催され、今年度は2年ぶりの現地対面での研究会となりました。

高知高須病院 地域医療連携室 MSW 氏次 飛鳥(うじつぐ あすか)

四国透析研究会では特別講演ほか、一般演題32題の発表があり、当院からは医局、看護部、臨床工学部、地域医療連携室が発表しました。

地域医療連携室では「身寄りのない透析患者に成年後見人制度を利用した経験から～患者の状況に応じた支援体制の構築～」を発表させて頂きました。

近年、家族形態も変化し、身寄りのない人への支援が課題となっています。対象患者さんは、成年後見制度の



利用に関心を持たれたため、医療ソーシャルワーカー(MSW)が、情報提供と調整に取り組み、成年後見制度の活用につながりました。結果、本人の思いに寄り添えた支援になったのではないかと思います。

時世と皆さんの関心事でもあったこともあり、当院の医療ソーシャルワーカーとして、初めて学術奨励賞を頂く事ができました。

今後の業務に活かしていきたいと思っています。

専門性を高め、より質の高い医療の提供へ



病院や診療所では医師をはじめ、看護師や薬剤師、臨床検査技師など、様々な職種がそれぞれの専門性を発揮して患者さんに向き合っています。

当法人では、それに加えてプラスαの資格を持ち、より質の高い医療の提供につなげている職員がたくさんいますので紹介します。今回は「転倒予防指導士」です。

転倒を予防し心身ともに健康な生活を送るために

透析室 師長 西岡 佳代(にしおか かよ)

転倒予防指導士とは日本転倒予防学会が認定する資格制度です。

寿命の延伸とともに転倒予防はその重要性を増しています。高齢者の3人に1人は1年間に1回以上の転倒を経験するとされ、転倒による不慮の事故は窒息に続き第二位であり交通事故を上回っているとされています。

また転倒は大腿骨近位部骨折をはじめとした高齢者の骨折の主原因であり、要介護の主要な原因の一つとなっています。転倒を予防することで、転倒に伴う骨折や外傷およびその後の寝たきり・要介護を低減・予防することが出来ます。

私は今まで病棟で勤務してきた中で、転倒予防の必要性を感じ、2018年に転倒予防指導士の資格を取得し転倒予防活動を行ってきました。今年の1月に透析室に異動してきましたが、自宅での転倒率、受傷率の高さに転倒予防の必要性を実感しています。(フロア内では転倒転落件数53件発生していました)

通院して来られる患者さんの転倒を予防し、自宅から通院透析が維持できるよう取り組みを始めました。多職種で情報共有、連携し転倒予防活動をしていきたいと考えています。



はるか
だよりはるかの芋掘り
～大当たりはどれ？～

はるか介護福祉士
濱田 真菜
(はまだまな)



秋といえばスポーツの秋、食欲の秋、芸術の秋など様々なものが思い浮かびますが、皆さんはどんな秋でしょうか。はるかでは、秋といえば芋掘り!ということで、芋掘りを行いました。とは言っても本物の芋を掘るのは難しいので、職員手作りの紙でできた芋をつるに見立てたひもに結び、そのひもを引っ張って収穫するというレクリエーションです。

芋掘りが始まり順調にひもを引っ張って収穫していくと、お芋を手にした人は「これは固いねえ」、「どうやって食べよう」と本物と間違われており、偽物と伝えると「まあ!びっくり!」と驚かれていました。芋の中には大当たりの札がついた物を2本用意し

ており、それを引いた2人にはお菓子の景品を準備していました。すると開始早々に続けて2人の方が大当たりとなり、皆でびっくりしつつ笑ったことでした。

その後はいつもの喫茶がはじまりお菓子やドリンクを楽しまれ、「おいしいねえ」と喜ばれていました。

分院
だより気軽に
サイクリング

臨床工学部
臨床工学技士
小谷 英誉
(おだに ひでよし)

自分の趣味の一つであるサイクリング。

休日には友達と高知県のサイクリングロードや観光地の穴場スポット等を巡って、西へ東へ自転車をこいでいます。

知らない土地で海や山など自然の景色を見ながら風を切って走るのはドライブとは全く違う気持ち良さが、途中でその土地のグルメを楽しんだり、走った後に温泉に入ったりといろいろな楽しみがあります。疲労感もありますが達成した時の感動もひとしおです。

目的地が僻地にあっても、自転車なら休憩できるポイントを予め決めて計画を立てていけば行くことができますし、自転車は小回りが効くので、その土地の穴場スポットやグルメなど、地域の魅力を隅々まで楽しめます。

何かに制限されることもなく、自分のペースで手

軽に楽しめるのがサイクリングの魅力だと思います。また、自転車をこぐことは有酸素運動なので健康にも良く、ダイエット効果もあります。

東部では夜須町にサイクリングロードがあり自転車もレンタルしているので、休日のリフレッシュに一度体験して見てはどうでしょう。



夜須町のサイクリングロードにて(一番左が小谷さん)

第57回

人生いろいろすずなりリレー

公文 歩樹 さんから →

透析室 看護師 伊藤 有希乃 (いとう ゆきの) さん

韓国ドラマ ～まっすぐな愛情表現に癒される～

私の趣味は韓国ドラマを見ることです。

韓国ドラマは、日本のドラマとはまた違った面白さがあるので、ついつい見てしまいます。韓国と日本のドラマの面白さの違いは、登場人物が多く、一つ一つの場面が凝っているところですよ。

登場人物を覚えるのに時間はかかりますが、その分場面によって様々な登場人物の物語が繰り広げられるのでまったく飽きません。展開も予想外で、ミステリーでは最終回までに犯人を探すのが楽しみに感じますし、いい意味で

毎回期待を裏切られます。

ラブストーリーでは、日本のドラマではあまり見ないまっすぐな愛情表現に癒されるシーンが多く、ほっこりします。韓国語は、日本語だと少し照れ臭くなる

ような言葉でも、表現が柔らかくて、ストンと心に響くので、ラブストーリーが好きでない人にもおすすめです。

最近では、日本のドラマでも『シグナル』のように韓国ドラマのリメイクをしていたりするので、興味があればぜひ見てみて下さい。

コロナに負けるな！
学会・発表会 発表実績

新型コロナウイルスの感染拡大が始まって4年目に入りました。当法人ではコロナ禍においても、医療の質向上を目指し、学会発表等をおこなってきました。前々号・今号の2回に分けて、2021年度発表実績を報告します。

発 表 日	学会・掲載雑誌名等	演 題 名	部署名・発表者名
2021年10月2日	第11回 中四国臨床工学会	手術支援ロボットda Vinciの更新に伴う業務変化	臨床工学部・和田 尚也
2021年10月15日	高知県高坂学園生涯大学	認知症とその予防	医局・近森 一正
2021年10月17日	第55回 四国透析療法研究会	透析液エンドトキシン測定法簡素化の検討	臨床工学部・西村 光正
		穿刺針ゲージ数別及び流体の粘調度による実吐出量の比較検討	臨床工学部・畠中 祥伍
		看護師によるエコー下穿刺の現状取り組み	安芸診療所・川上 悠加
2021年10月21日	第61回 血液浄化セミナー	高知県における災害対策	臨床工学部・小川 晋平
2021年10月23日	日本糖尿病学会中四国地方会 第59回総会	糖尿病合併血液透析患者のグリコアルブミン値の推移	検査部・高橋 奈津子
2021年11月4日	第73回 西日本泌尿器科学会	当院での前立腺生検の成績 ～MRITRUS fusion biopsyでの取り組み～	医局・矢野 哲弘
2021年11月14日	CKD市民公開講座「腎臓病とその治療」(高知新聞主催)	自分に合った治療方法の見つけ方 ～腎代替療法選択とその先の治療～	医局・大田 和道
2021年11月14日	高知新聞社公開講座	正しく知って、一緒に考えよう 腎臓病とその治療	医局・大田 和道
2021年11月18日	第11回 高知県臨床工学技士会血液浄化部学術セミナー	新人・若手向け育成セミナー ～血液透析患者の穿刺のコツ	臨床工学部・川上 剛
2021年12月5日	第11回 高知県臨床工学会	排液採取時に使用する排液貯留ボトルの検討	臨床工学部・都築 一生
2022年1月27日	第43回 日本手術医学会	意識下で手術を受けた患者の関りに関する満足度調査を実施して	手術室・片岡 友香
2022年2月5日	第109回 日本泌尿器科学会四国地方会	85歳以上の前立腺肥大症に対するHoLEPの臨床検討	医局・西山 美月
2022年2月27日	第48回 高知県透析研究会	最近10年間の当院における腹膜透析導入例の検討	医局・大田 和道
		高齢透析患者への在宅支援サービスの	透析室3・細川 佐絵
		I HDF における血圧低下と心疾患の割合について	臨床工学部・松林 玲佳
		透析患者の難治性Clostridioides difficile腸炎に対して腸内細菌叢移植治療を行った1例	医局・矢野 哲弘

(発表期間／2021年10月～2022年3月)